

○担い手と農業委員が意見交換

(京都府綴喜郡宇治田原町第6回地区連絡会議)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

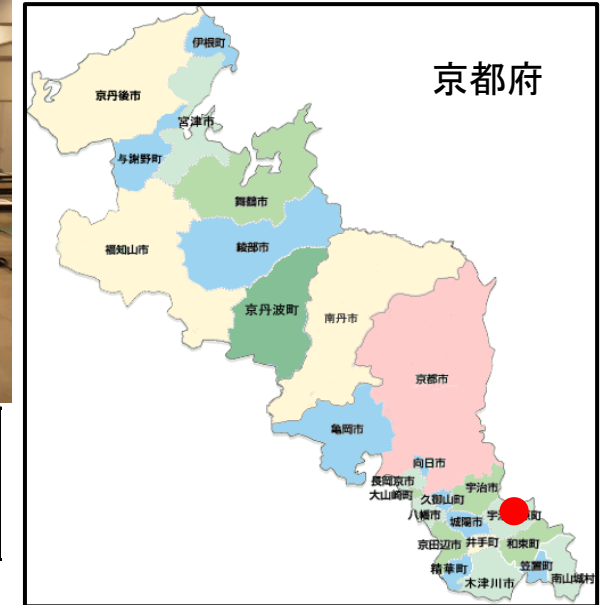
遊休農地の
発生防止・
解消

新規参入の
促進

その他
(農業委員会の
体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 平成31年3月22日午後7時30分～8時45分
- 場 所: 宇治田原町文化センター
- 出席者: 担い手20人
農業委員12人、最適化推進委員5人
事務局2人
- 報告者: 今井 農業会議現地推進役



2 地区の特徴、状況、課題

- 京都府南東部の中山間地域に位置し、町の中央部を東西に国道307号が走り、お茶の産地として知られている。
- 本町の農業は、お茶を中心に、きゅうり、みずな、ねぎ、水稻などが栽培されているが、高齢化により山成り茶園や水田で遊休農地が増加している。

3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 事務局主導で実施した過去2回の地区連絡会議では、委員からは多くの意見や課題がだされた。
- 今回は、「担い手と農業委員の意見交換会」として開催し、地区連絡会議も兼ねて開催された。
- 事務局から、31年度に町が農業振興地域の見直しを検討していることと農振農用地のメリットを報告。
- 会場には、農振農用地の地図が準備され、地図をみながら、担い手と農業委員が意見交換を行った。
- 担い手から、「この農地を農振農用地に入れてほしい。ここを貸してほしい。ここは獣害がひどい。」などの意見があった。
- 山中会長からは、「良い交流となった、来年も実施したい。」との声があった。

4 活動結果

- 情報・意見交換 ↑ 時間
- 担い手への集積 a 増加
- 遊休農地面積 a 解消
- 新規就農者 人 支援